

● RID 2570 地区月信 ●

District Monthly Letter

国際ロータリー第2570地区(埼玉西北部)

2023

4・5・6

月合併号

4月 環境月間
5月 青少年奉仕月間
6月 ロータリー親睦活動月間

RID 2570
地区
月信

マイロータリーのブランドリソースセンターより 「水と衛生」

国際ロータリー第2570地区 2022-23年度

Contents

2022-23年度 RI会長あいさつ	2
ロータリー財団委員会 地区補助金セミナー	3
こども家庭委員会 NPO法人埼玉フードパントリーネットワークに寄付金贈呈	4
ロータリーの森清掃	4
会員増強・IT推進委員会 U-40トークセッション	5
学友送会と新奨学生歓迎会	5
IM報告(第2グループ)	6
表彰・物故	7
新会員紹介・会員数報告・地区事務所	8



Rotaract 

Rotary 



マイロータリーのブランドリソースセンターより 「ロータリー会長」

ロータリー青少年ネットワークのご紹介

最悪な状況の中から最善のことを引き出すにはどうすればよいのか？

コロナ禍が世界、そして私たちの生活を一変させたことを忘れる人はいないでしょう。私たち一人ひとりがこの不確実な時を乗り越えなければならず、その影響を逃れられる人は誰一人としていませんでした。

私は、これが別の種類のグローバルリーダーシップ、つまり勇気と共感力を備え、かつ傷つきやすくもあるリーダーシップのためのスペースを作り出したと感じています。2020年の初期、私は良き友だちであるアニエラ・カラセドさんとオンラインで出会いました。彼女はそのようなリーダーの一人であり、今月のコラムの残りの部分を彼女に引き継げることを嬉しく思います。

2020年3月、私はパニック発作を起こしました。息ができず、胸にひどい痛みを感じました。

世界保健機関（WHO）が新型コロナウイルスを世界的なパンデミックと宣言してから数日が経っており、私はロータリー青少年交換で米国に留学中でした。考えてみてください。18歳の少女が、外国語が話されている異国で、わずか半年前に会ったばかりの人たちと一緒に暮らしていたのです。恐怖を感じました。

西半球で最悪の人道・政治的危機の一つを経験したベネズエラで生まれ育った私は、不確実さについてよく知っていました。母はいつもこう言いました。「困難は、解決が必要なニーズに過ぎない」と。

私はインターアクトと青少年交換の友人に電話し、一緒にオンライン会議を開催しました。その目的は、プロジェクトの情報を交換し、隔離生活の中ではかの人たちが行っていることから刺激を受けることでした。最初の会議では、17カ国から70人（主に学生）が参加しました。

当初から、隔離中に世界中のロータリーの青少年が自身の経験を分かちあい、プロジェクトのアイデアを紹介してインスピレーションを得るためのオンラインプラットフォームを構築しました。若い人たちをつなぎ、文化を共有し、国際奉仕プロジェクトの新たな協力の機会を見つけるのを援助してくれるメンターやサポーターも探しました。私たちはこのグループを、「Rotary Interactive Quarantine (RIQ)」と呼びました。

わずか1年後には、80カ国、5,000人以上の学生と交流していました。チームメンバーの数名は地区インターアクト代表や地区委員会の委員となり、中には国際ロータリーで諮問委員会の委員を務めている人もいます。

やがて隔離制限が解除され、参加者のニーズは変化しました。RIQとしての最後の公式会議で、バリー・ラシン元RI会長からもっと大きな変化を生み出すことへのインスピレーションを与えられた私たちは、RIQを「ロータリー青少年ネットワーク（RYN）」へと生まれ変わらせました。

私を含む数名のメンバーが初代インターアクト諮問委員会の委員として選ばれ、ロータリーの青少年のためのビジョンをRI理事会に提示しました。

理事会でのプレゼンテーションは、ジェニファー会長とそのチームが国際ロータリーに青少年諮問委員会を設置するきっかけとなりました。私はその共同委員長を務めていることを光栄に思います。

ロータリー青少年ネットワークは、ヒューストンでの2022年ロータリー国際大会の分科会で正式に発足しました。インターアクト、青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）への参加経験がある私たち5名は、2年前にオンラインで始めた組織を正式に立ち上げるために大陸を旅しました。国際大会は、私たちが初めて直接に会った機会でもありました。

私たちが発表を終えたとき、500人以上が総立ちの拍手をしていることに気づきました。目に涙があふれ、興奮と達成感に満たされました。パニック発作がこのような結果をもたらすとは、誰が想像できたでしょうか。

マイロータリー／RI会長からのメッセージ／2023年4月より

国際ロータリー 2022-23年度 RI会長
ジェニファー E.ジョーンズ



ロータリー財団委員会
統括委員長 江崎 浩史
(新所沢RC)

ロータリー財団 地区補助金セミナー

2023年3月11日(土)
in国立女性教育会館



3月11日(土)国立女性教育会館にて次年度申請用の地区補助金セミナーを行いました。

このセミナーは次年度の地区補助金を申請いただくにあたり、MOUへ署名する資格を有します。

まだ、完全に新型コロナウイルスが終息しておらず、リアル開催のみとさせていただきますが、大多数のクラブが参加いただき次年度の申請に期待が持てます。

13時30分、村田ガバナーの点鐘、国家「君が代」・ロータリーソング「奉仕の理想」を斉唱し、村田ガバナー、高丹ガバナーエレクトのご挨拶をいただき、セミナーは始まりました。

はじめに、ロータリー財団統轄委員長の江崎委員長より、セミナーの趣旨説明と災害支援金によるウクライナ支援の報告・ロータリー章典から学ぶロータリーのハラスメントに関する捉え方を説明受けました。

中でも、ウクライナ現地の写真には戦争の爪痕がしっかり写っており衝撃的でした。

続いて、ポリオプラス委員会の中嶋委員長より、ポリオ根絶に向けて報告いただきました。

ポリオ根絶残り僅かながら、莫大な資金と労力がつぎ込まれており、終わりなき闘いに出口が見え始めてきた気がしました。

次に、細淵資金推進管理委員長からは昨年度の寄付の実績と表彰が行われ、重複しているとはいえ沢山のクラブが表彰されていたこと

にさすがはロータリーと感じました。

今年度の寄付進捗では、残念ながら、色々と未達な部分を指摘されやんわりと寄付の推進を運間がされました。

前半の最後は、鳥居奨学委員長より、ロータリー財団派遣奨学生の紹介です。

次年度渡航予定の奨学候補生2名を紹介して、代表で佐藤哲郎さんにご挨拶されました。

グローバル補助金奨学生のスピーチという事もあり、専門分野への意欲が大変よく伝わってきました。この様な学生たちを派遣し続けてきたことに、ロータリー財団への寄付の意義を感じました。

後半に入り、昨年度のDDFの利用実績及び申請方法を荒木補助金委員長より、説明を受けました。基本、地区補助金もグローバル補助金も授与と受諾の条件がきちんと明文化されており、誰に対しても公平であることが伝わりました。

専門的な用語はさておき、地区補助金の申請方法など詳しく説明頂き大変わかりやすかったと感じます。

そして、再び細淵資金推進管理委員長より、地区補助金の報告方法を資料とスライドのダブルで大変詳しくレクチャーされました。

特に通帳の管理扱い方については、毎年必ずやらかしてしまうクラブが有るなど、冗談も交えながら丁寧に教えていただきました。

どの委員長も大変熱心に説明をされたのか、特に質疑応答もなく、3時間を超える長丁場のセミナーも無事に終了いたしました。

2023-2024地区派遣奨学生

エモリー大学ロリンズ公衆衛生大学院(米国) 佐藤 哲朗 氏

本年8月より2年間、米国アトランタにあるエモリー大学公衆衛生大学院グローバルヘルス学科(感染症専攻)にて公衆衛生学修士号を取得目的で留学します。エモリー大学では行動変容に繋がるヘルスコミュニケーションを学ぶことで、感染症の流行・集団発生時に、実地疫学調査で得た情報や教訓をリスクコミュニケーションの手法を踏まえ、広く市民に還元できる専門家になれるよう精進します。米国の大学院は1年目と2年目の間に長い夏休みがあり、その期間を利用してアフリカをはじめとする低所得国でのインターンシップやフィールド調査の経験を積みたいです。修了後は世界の公衆衛生の首都であるアトランタの地の利を活かし、米国及び世界の感染症対策における司令塔機能を有するCDC(米国疾病予防管理センター)をはじめとした最先端の研究機関での業務を経験し、最終的には低所得国及び母国日本の健康危機管理に貢献したいです。

留学期間中は第6900地区にあるノース・アトランタRCに受け入れていただくことになりました。第2570地区グローバル補助金奨学生及び埼玉親善大使として、頂いた機会を活かしロータリアンの方々からも最大限吸収する所存です。

ワシントン大学教育学修士 特別支援教育(米国) 金泉 愛 氏

今年の秋より、アメリカワシントン州のシアトルにありますがワシントン大学で、特別支援教育を学ぶ予定です。発達障害の特性により、長い間学校や職場でいじめを経験してきた兄や、これまで支援をしてきた障害を持つ子どもたちやその家族にとって、生きやすい社会を実現したい。そのために、子どもの多様なニーズに対応できる教育が必要だと考えております。大学院の授業や実践を通して現地のインクルーシブな教育実践を学び、日本の学校文化や制度に合わせて日本に取り入れる方法を模索したいと考えております。そして与えていただいた機会に感謝をしながら、学業だけでなく、受け入れ地区のロータリークラブでのさまざまな活動に積極的に参加させていただく所存です。

NPO法人埼玉フードパントリーネットワークに寄付金贈呈

—2人の「世界を変える女性行動人」との出会い— 2023年5月8日(月)

こども家庭委員会
委員長 山口和範
(東松山RC)



草場澄江理事長を囲んで記念写真



女性活動家 上養礼子さん



ロータリー3人衆の仕事風景



この春、2人の女性活動家と出会った。一人は「上養礼子」さん。川越市の川鶴団地で「チームひだまり」を起ち上げ、子ども食堂・フードパントリー・学習支援も手掛けるスーパーウーマンである。NPO法人埼玉フードパントリーネットワークの専務理事を務める。そしてもう一人は「草場澄江」さん。上養さんから紹介され、越谷市で同様の活動を行っているほか、このNPOの理事長を務め、県内70以上のフードパントリーに食材を割り振ったり、提供企業との折衝もこなすなど、超アクティブウーマンである。

GW明け5月8日(月)、こどもの日を記念し、このNPOに地区として5万円を寄付した。当日はこども家庭委員会から私と白幡英悟委員(入間RC)のほか、村田貴紀ガバナーも出席した。その日はちょうどパントリー開催日とあって、諸事情により5万円しか寄付できなかった申し訳なさもあり、我々もお手伝いすることにした。直径1mはあろう袋に企業などから提供頂いたいろいろな食材が既に詰め込まれていた。その他、米2kg、農家さんから頂いた野菜、冷凍食品、子どもが喜ぶお菓子等、各「100袋」が部屋の中に所狭しと積み上げられていた。準備するだけでも相当な苦勞が窺われる。16時の開始と同時に、母子家庭のお母さんたちが次々と大きなバッグを持参し、これらの食材を受け取りに来了。スタッフとは顔なじみで、楽しそうに嬉しそうに会話を交わしていた。我々ロータリー3人衆は、大きな食材袋を手渡したり、空いた段ボール箱をつぶすなどの力仕事を2時間ほど行った。

「元始、女性は太陽であった」—これは作家で女性運動家の平塚らいてうの言葉である。上養さんも草場さんも、そしてこのような事業に携わる多くの女性中心のスタッフたちも、ただただ貧困にあえいでいる弱き子どもたちを救いたいという熱い思いから行動する「太陽」である。上養さんは20年以上も子どもの貧困問題に取り組んできたが「何も変わらない」と嘆いていた。いやいや、あなた方のご尽力により、国内では7千を超える子ども食堂が運営されるようになり、ネットワークも県内70力所を超え、当地区でもこども家庭委員会が、そして国の方でもこども家庭庁が創設された。社会は、世界は、確実に変わってきている。

年度終わりに当たり、地区内ロータリークラブの皆様には、行政寄りのハードの奉仕もいいですが、こうした人道的なソフトの奉仕＝「ハートのある奉仕」の大切さに気付いて頂けたら、当委員会を起ち上げた意義はあったというもの。引き続き恵まれない子どもたちへの物心両面の支援を切にお願いいたします。

ロータリーの森清掃活動

ホスト:秩父ロータリークラブ

2023年5月27日(日) in秩父市羊山公園

5月27日、ロータリーの森清掃活動が行われました。水と酸素を生む美しい森として誕生以来、長年にわたり多くの会員により清掃等、維持管理されて来ましたが、新型コロナウイルスの影響により、ここ3年間にわたり中止あるいは縮小を余儀なくされておりました。

本年は4年ぶりに、ガバナー、副ガバナー、ガバナー補佐、各クラブ会員、奨学生を始め、多くの参加者を得て地区事業として開催され、晴天の下、久しぶりの汗を流しました。

森のエリア内には各クラブの樹木が生い茂り、それぞれのクラブの樹木として、クラブ名の札がかけられておりますが、劣化が進んだ状況でしたので、今回新規に札を架け替えさせていただきました。

今後もこのロータリークラブの森が、美しい森として管理され、環境整備の礎となることを願っております。





会員増強・IT推進委員会

副委員長 宮原 俊介
(志木RC)

会員増強・IT 推進委員会

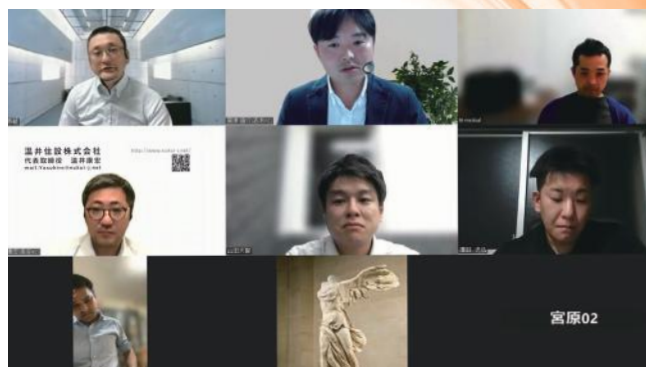
2023年5月9日(火)
U-40 Rotary×talk

2023年5月9日(火)に会員増強・IT推進委員会主催によるオンライントークセッション「U-40 Rotary × talk」が行われました。

「U-40 Rotary × talk」は、44歳以下(U-40:アンダー40)のロータリアンを対象に「若手目線のロータリー」をテーマに各々の意見を出し合うイベントです。現在国際ロータリーでは、会員の高齢化に伴う会員減少を危惧し、40歳以下の会員の入会を推奨しています。昨年9月に当地区の各クラブへ実施したアンケート(ガバナー通信3月号参照)においてもクラブ活性化には若い会員の活躍が重要との回答が多く挙げられており、世界のみならず、若い会員の入会は各クラブにおける共通の課題となっています。

このような中、実施したアンケートより、若手の話を聞きたいというクラブの回答も多く、このニーズに応えるべく、本トークセッションを動画として各クラブの会員増強の一資料として活用いただく事を目的として企画しました。地区の会員構成を鑑み44歳以下を若手会員と定め、事前応募があった若手会員(20代～40代)7名を対象に活発な意見が飛び交う時間となりました。

意見の中には「入会できたことで人脈形成に大きく繋がり、また人柄を知れたことによる親近感から様々な考え方を知ることができた」、「若い世代の活動についての理解を示してくれる会員が多い」などの暖かい意見がある一方、「歴史があるクラブ活動や委員会に途中参加(入会)する為、1年間では個々の活動の本質を理解しにくい」、「明確にスキルアップに繋がるものが欲しい」、「会費と活動内容がマッチしているのかよくわからない」、「既存の活動が多く、新規活動の企画が難しい」、「良いことをしているのにPRが足りない」、「メンバーに女性が少ない」、「例会時間(昼間だけでなく)に柔軟性が欲しい」な



ど、実際の若い世代が活動するためには、これまでの「ロータリーの価値観」とは異なる視点からの変化も必要となるのではないかと感じる意見も生まれました。総じて、組織改善のための効果的な試みではないかと史料でき、またイベント後には互いのクラブを訪問するメイクアップの機会が生まれる会話も会員同士から発せられ、地区内の若い会員の交流が創出された価値のある時間になりました。

2023年6月4日(日)
学友総会と新奨学生歓迎会

米山記念奨学委員会

6月4日に、学友総会と新奨学生歓迎会がアルカーサル迎賓館川越にて開催されました。まずは上品な会場レイアウトに、奨学生と学友の皆さんともに喜んでいました。いつも心をこめて場づくりをしてくださっている奨学委員会の皆様に感謝します。

今回の総会と歓迎会は近年終了した学友の皆さんが大活躍してくれまして、司会から議事セッションの進行、学友と奨学生からのスピーチまで、全てがテンポ良く進められました。奨学委員会の皆様のサポートも加え、活気とチームワークが感じさせられる会となりました。また、来賓の皆様からも沢山お話を聞かせて頂き、他部門さらに世界のロータリー事情、励みや鞭撻を賜り、私たちの視野と今後の社会活動にも余韻長く響くことだと思います。歓迎会には、新奨学生の皆さんと世話クラブのロータリーアンが一緒に登壇して、定番のショートスピーチをして頂きました。奨学生の皆さんの溢れる自信と笑顔は特に印象が深かったです。これはロータリーアンの皆さんがそばにいるからこそ見せられたのではないかと思います。今回はもっと奨学生と学友の皆さんのお話を聞きたいなと思っています。関わりの長い学友として、このような場作りに微力を捧げていきたいです。

学友会会長 鄭 迎花



第2グループ

インターシティミーティング報告

ガバナー補佐

山崎 一吉

(朝霞RC)

2023年6月4日(日)
in新座市ベルセゾン

Intercity Meeting

強い心と友情を育もう

2023年6月4日(日)、16時00分より新座市のベルセゾンにおきまして第2グループのIM(INTERCITY MEETING)を開催させて頂きました。第2グループと致しましては新型コロナの関係により、実に3年振りの開催ですが、本年度も新型コロナの感染拡大により当初1月開催の予定を6月に変更しての開催となりました。再三の新型コロナの影響により本年度の開催も危ぶまれていましたが、お陰様を持ちまして開催当日を迎えることができました。

当日は天候にも恵まれ、日曜日ではありましたが、ご来賓、クラブ会員、関係者の皆様には会場までご参集を賜り、間もなく開会の時間を迎えようとしています。「段取り八分仕事二分」といいますが、今まで準備を進めて頂きました皆様に感謝を込めながら、開会の点鐘をさせて頂きました。第1部ではセミナー「新型コロナ感染状況下の中での経営について」をテーマとした、コロナ禍における会員事業所における発表を各クラブ会員より頂き、コロナ禍での経営対策について学ばせて頂きました。また、第2部では、「大栄翔関、その強さとは」をテーマに、埼玉県朝霞市出身の大相撲関取である大栄翔関をお迎えしてのトークショー並びに床山・付人による大銀杏結髪実演を開催し、会員の皆様と楽しい時間を共有させて頂きました。

3年ぶりの開催となりました第2グループのIMですが、今回のIMIは、このようなコロナ禍においても知恵と勇気を振り絞りながら自社の経営を進めていくための力を養う。更に、地元の大相撲関取である大栄翔関をお迎えして第2グループ会員相互の更なる親睦と交流を深める。という思いをこめて「強い心と友情を育もう」をテーマに第2グループのIMを開催させて頂きました。今回、IMを開催させて頂き、私自身、本当に有難く思っております。関係各位のご協力があった開催できたものと改めて感謝する次第です。色々失敗点、反省点もございましたが、ロータリーの友情を持ちましてご容赦頂ければ幸いに存じます。この度のIMの開催により、少しでも第2グループ各クラブとの絆を深めることが多少なりともできたとすれば幸いに存じます。ご来賓の皆様を始め、各グループ会員の皆様、関係者の皆様に御礼を申し上げ、IMのご報告並びにご挨拶に代えさせて頂きます。有難うございました。



米山表彰・財団表彰 COMMENDATION

米山功労者 17回



高柳 育行
本 庄

米山功労者 19回



馬場 常正
川 越

米山功労者 6回



石井 成人
川 越

米山功労者 1回



小川修一郎
川 越

米山功労者 3回



西川 孝博
川 越

米山功労者 2回



水村 圭司
川 越

米山功労者 1回



米原 恭淳
川 越

米山功労者 15回



中 舘 清
鶴ヶ島

米山功労者 5回



齊藤 大祐
鶴ヶ島

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



五十幡 和彦
行田さくら

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



水村 雅啓
入 間

ポール・ハリス・フェロー



長谷川 均
川 越

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



米原 恭淳
川 越

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



馬場 常正
川 越

ベネファクター



田辺 實
飯 能

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



堀江 大
所沢西

ポール・ハリス・フェロー



金岡 悟
所沢西

訃報

謹んで心よりご冥福をお祈り申し上げます



横川 福治
行田さくら

逝 去
2023年2月14日
享 年 79歳
入会日
1989年3月28日
在 籍 33年
役職等
2003-04年度
会長



長谷川 博
行田さくら

逝 去
2023年5月28日
享 年 79歳
入会日
1984年10月26日
在 籍 38年
役職等
2020-21年度
会長



加藤 拓 (鶴ヶ島)
入▶2023年2月15日
勤▶あったかほーむ
役▶代表取締役
生▶1984年9月17日
紹▶向井宏倫



津藤淳也 (入間)
入▶2023年3月16日
勤▶(有)モリヤ電機
役▶代表取締役
生▶1972年7月19日
紹▶後藤 健



関谷昌幸 (川越)
入▶2023年4月4日
勤▶水戸証券㈱川越支店
役▶支店長
生▶1977年7月30日
紹▶吉崎秀夫・八木拓也



今泉嘉章 (川越)
入▶2023年3月14日
勤▶(株)今泉
役▶代表取締役
生▶1978年11月15日
紹▶立原雅夫・相原茂吉



三田恒次 (川越)
入▶2023年3月28日
勤▶飯能信用金庫 南大塚支店
役▶支店長
生▶1972年4月12日
紹▶藤倉省一・鈴木健二



小山喜一郎 (行田)
入▶2023年4月13日
勤▶小山商事株式会社
役▶代表取締役
生▶1959年4月19日
紹▶岡田則之



前山清隆 (川越中央)
入▶2023年4月3日
勤▶(株)メモリード
役▶参事
生▶1964年5月8日
紹▶吉敷賢一郎



澤田光弘 (熊谷西)
入▶2023年3月6日
勤▶(株)光栄
役▶代表取締役
生▶1995年5月17日
紹▶出口眞次



長嶋靖明 (熊谷西)
入▶2023年4月10日
勤▶住友生命保険相互会社
役▶熊谷支社長
生▶1969年9月7日
紹▶



石川 浩 (秩父)
入▶2023年4月11日
勤▶石川電気(株)
役▶代表取締役社長
生▶1969年3月29日
紹▶山根益男



大室博光 (秩父)
入▶2023年4月18日
勤▶(株)武蔵野銀行 秩父支店
役▶支店長
生▶1970年4月4日
紹▶若林俊明



鴨下秀幸 (志木)
入▶2023年4月5日
勤▶(有)カモシタ創建
役▶取締役
生▶1978年12月12日
紹▶小林八郎・大村相基



為井公拓 (志木)
入▶2023年4月5日
勤▶ニッケ(株)
役▶管理本部 部長
生▶1977年7月5日
紹▶小林八郎・大村相基



白井義尊 (志木)
入▶2023年4月5日
勤▶(株)伊東土木
役▶代表取締役
生▶1967年2月10日
紹▶小林八郎・星野博之



高橋 良 (志木)
入▶2023年4月5日
勤▶(株)Big Sky Project
役▶代表取締役
生▶1977年2月2日
紹▶小林八郎・遠藤貴博

会員報告数

3月末

グループ	RC名	会 員 数 (人)								
		年 初	3 月 末	入 3 会 数 月	退 3 会 数 月	入 本 会 年 数 度	退 本 会 年 数 度	純 3 増 月 数 度	純 本 増 年 数 度	3 月 女 性 未 会 員 数
第1グループ	川越	97	103	2	1	8	2	1	6	3
	東松山	22	21	0	0	0	1	0	-1	2
	小川	8	8	0	0	1	1	0	0	2
	坂戸	29	28	0	0	0	1	0	-1	1
	越生毛呂	14	13	0	1	0	1	-1	-1	1
	川越小江戸	16	15	0	0	0	1	0	-1	2
	川越西	24	25	1	0	1	0	1	1	5
	鶴ヶ島	29	29	0	0	1	1	0	0	3
	川越中央	25	25	0	0	1	1	0	0	0
	坂戸さつき	19	19	0	0	0	0	0	0	4
	東松山むさし	42	41	0	0	0	1	0	-1	6
	合計*1	325	327	3	2	12	10	1	2	29
第2グループ	朝霞	24	23	0	0	0	1	0	-1	1
	志木	41	44	0	0	4	1	0	3	2
	富士見	34	33	0	1	0	1	-1	-1	0
	新座	22	23	0	0	2	1	0	1	2
	和光	17	15	0	0	0	2	0	-2	7
	朝霞キャロット	10	10	0	0	0	0	0	0	0
	新座こぶし	9	9	0	0	0	0	0	0	2
	合計*1	157	157	0	1	6	6	-1	0	14
第3グループ	入間	37	37	0	0	1	1	0	0	1
	所沢	58	59	0	0	1	0	0	1	3
	飯能	70	71	1	0	2	1	1	1	1
	新所沢	16	18	0	0	2	0	0	2	2
	日高	18	20	1	0	2	0	1	2	3
	所沢西	33	35	1	0	2	0	1	2	4
	新狭山	17	17	0	0	0	0	0	0	0
	所沢東	48	48	0	0	1	1	0	0	1
	入間南	43	41	0	0	1	3	0	-2	0
	所沢中央	20	20	0	0	0	0	0	0	2
	狭山中央	20	20	0	0	0	0	0	0	6
	合計*1	380	386	3	0	12	6	3	6	23
第4グループ	深谷	51	56	0	0	5	0	0	5	11
	本庄	74	89	1	0	16	1	1	15	6
	秩父	48	48	0	0	3	3	0	0	1
	寄居	32	34	1	0	2	0	1	2	0
	児玉	3	2	0	0	0	1	0	-1	0
	岡部	14	16	0	0	2	0	0	2	2
	深谷東	69	67	0	0	2	4	0	-2	0
	川本	6	6	0	0	0	0	0	0	0
	皆野・長瀬	9	7	0	0	0	2	0	-2	0
	2570バスポート	4	4	0	0	0	0	0	0	2
	深谷ノース	27	25	0	0	0	2	0	-2	2
	合計*1	337	354	2	0	30	13	2	17	24
第5グループ	熊谷	92	96	3	1	5	1	2	4	4
	行田	58	58	0	0	1	1	0	0	6
	羽生	42	43	0	0	1	0	0	1	4
	加須	26	23	0	0	0	3	0	-3	0
	熊谷西	7	7	0	0	0	0	0	0	0
	行田さくら	54	51	0	1	0	3	-1	-3	2
	熊谷東	21	20	0	0	0	1	0	-1	1
	吹上	6	7	0	0	1	0	0	1	2
	熊谷龍原	27	30	0	0	3	0	0	3	1
	熊谷南	25	27	0	0	3	1	0	2	3
	合計*1	358	362	3	2	14	10	1	4	23

※4月以降の会員数につきましては次号にて報告いたします

地区月信
4・5・6月号

2023年7月15日発行

国際ロータリー第 2570 地区 地区事務所

〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町 2-5-14 ガーデンホテル紫雲閣内

【TEL】0493-21-2570

【FAX】0493-21-2571

【mail】d-office@mail.rid2570.gr.jp

【web】https://www.rid2570.gr.jp